**第２７回登別市市民自治推進委員会　ぬくもり部会議事録**

（敬称略）

|  |  |
| --- | --- |
| 開催日時 | 令和元年１２月２６日（木）１５時００分～ |
| 開催場所 | 登別市役所本庁舎　２階　第１委員会室 |
| 出席者 | （部 会 長）田渕　純勝（副部会長）雨洗　康江（部 会 員）岩浅　眞純、今　順子、鎌田　和子、佐藤　画美（庁内委員）沼田　久人、山本　直人（事 務 局）大越　智輝、塚崎　翔太 |
| 議題 | 収穫祭の報告及び今後の取り組みについて |

【収穫祭の開催結果について】

・室蘭・登別心身障がい者職親会が例年秋に実施している収穫祭について、登別市市民自治推進委員会（担当:ぬくもり部会）が協力し、「みんな集まれ“ぬくもり”収穫祭」として実施し、関係者を含め１３９人が参加した。より幅広い市民を対象とし、心のバリアをなくす市民意識の醸成を図った。詳細は別紙のとおり。

・同事業は来年度以降も室蘭・登別心身障がい者職親会の単独事業として継続される。登別市市民自治推進委員会としては参画しないものの、関心のある委員は個別に参画することができる。

【特定健診の受診率向上について】

・平成２９年度までぬくもり部会で取り組んでいた特定健診の受診率向上について、第３期基本計画の目標への接近度を図る指標では平成２６年度実績が３０．３％、平成３７年度目標が４５％となっている。

・市においては特定健診の対象者に対して年に複数回はがきを送り、個別に電話がけをして、受診者に対しては市民プールの利用特典等を設けている。また医療機関に対して診療に訪れた方に対して特定健診受診を勧めるよう依頼するほか、チラシやポスターでの周知を行っている。

・ぬくもり部会においては各部会員が所属する団体の行事での啓発活動を継続することで更なる受診率の向上を目指し、今後も受診率の推移を注視することとする。

【今後の取り組みについて】

・例として、介護予防に係る地域支援事業の運用状況、児童虐待への対策、各種団体の構成員や団体が主催する行事への参加者減少への対策、認知症の方の地域でのサポート、障がい者関係団体等の取り組みの見える化など関心のあるテーマが各部会員より示された。

・障がい者に関する各団体の取り組みが見えにくく、情報交換などにより見える化した方が良いとの意見があったため、次回までに事務局が市内の障がい者関係団体について調べる。

・今後の進め方について話し合う上での前提として、平成２８年度に市民自治推進委員会が立ち上がる際にも話が出たとおり、登別市市民自治推進委員会は市に対するご意見番や市に対して物申す場所ではなくて、市や国の取り組みで足りない部分を市民の力で何とかしようという組織。

・ぬくもり部会の部会員６人で何かをしようとしても限界があるので、それぞれの所属団体等の力を借りながら自分達でできることを探る。

・過去には市民自治推進委員会で市職員を呼んで市の事務事業を批評し、しかし委員会独自の取り組みは進展しなかったため活動が下火になったという経緯があった。今度はそうならないよう、自分たちでできることを探るのが望ましい。

・ぬくもり部会では第３期基本計画のうち第１章、主に保健福祉部門について議論をしていくことになる。「誰もが安心して暮らせるまちをつくる」に始まる４つの節それぞれに高齢者福祉や虐待など各部会員が関心を持っているテーマも含まれているので、各節を見ていただいた上で、皆さんの知見に基づいて取り組む内容を考えていただくのもひとつ。

・または、関心のあるテーマについて第３期基本計画の関連する部分を読んでいただき、市の取り組みでは足りないところがあれば、それを補完するために市民ができることを考えるという流れでもよい。例えば虐待であれば自分たちの地域で講習会を開催する、泣き声通告についての啓発を行うなど。

・次回までに第３期基本計画の中の施策などを読んでいただき、市の取り組みに加え市民の立場でどのようなことができるのかに主眼を置いて今後の取り組みを考えて来ていただく。

【次回について】

●日程：１月２９日（水）１８時～